

I 教育目標	
教育基本法及び学校教育法、子どもの権利条約、こども基本法等に則り、江東区教育理念に基づく「5つの力」を育むことを目指し、児童の心身の発達段階や特性、家庭や地域等の実態を鑑み、以下の教育目標を設定する。	
<input checked="" type="checkbox"/> 深く考え ともに学び	<input checked="" type="checkbox"/> かがやく笑顔で 思いやる
<input checked="" type="checkbox"/> がんばる気持ち いっぱいの	<input checked="" type="checkbox"/> わたしたち 元気な 深川っ子

II 経営方針	
目指す学校像	「あなたも、私も 互いのよさが輝く学校」 ～こどもも保護者も地域の方も、教職員も、互いのよさが発揮される学校～
目指す児童（生徒）像	◎ 自らよく考え、他者と協働しながら学び深める子 ○ 自他を大切にし、相互に尊重し合える豊かな心を備えた子 ○ 何事にも本気で、最後までやり抜く子 ○ 進んで体力の向上・健康の保持増進に努める子
目指す教師像	○ 誇りと使命感をもった元気な教師 ○ こどもと保護者に寄り添える教師 ○ 真摯に学び続けるプロ意識ある教師 ○ 同僚と高め合い、励まし合う教師
経営理念	社会情勢の変貌の中、法令等の制度等がいかに変化しても、公立学校の役割は、児童の諸能力の育成と、将来我が国を背負って立つ人材を育成することにある。学校は、児童が他者と協調しながらも、個性を発揮し、たくましく、生涯にわたって創造的に生きる力を育成する行政機関である。そこで、本校では、教科指導を軸に据え置きながら、あらゆる教育活動において、主体的に思考し、判断し、表現・行動する資質や能力を培う教育、及び自ら課題を見付け、その解決過程で試行錯誤しながら自らの考えを深めることができる問題解決的な教育を実施することを目指す。 教職員一同、「こどものために」を判断基準とし、「組織で」「保護者や地域の方とともに」を方策として、一つ一つの教育活動や職務に対し、常に「迅速・丁寧・誠実・挑戦・改善・感謝」を心がけて取り組んでいく。

III 経営目標		
重点領域1	確かな学力の向上 (<input checked="" type="checkbox"/> 深く考え ともに学び) (<input checked="" type="checkbox"/> がんばる気持ち いっぱいの)	
中期経営目標	「主体的・対話的で深い学び」の定着に向けた授業改善を通して、児童の思考力・判断力・表現力を伸ばし、主体的に学ぶ意欲を高め、学習内容の確実な定着を図る。	
短期経営目標	・「こうとう学びスタンダード～ネクストステージ～」を確実に定着させる。 ・全教科で「めあてをつかむ→考える→広げる→深める→(まとめる)→振り返る」の学習展開を「深川小学学習スタイル」とし、「主体的・対話的で深い学び」の定着に向け、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。 ・タブレット端末を効果的に活用し、学びの充実を図る。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	「こうとう学びスタンダードネクストステージ」の指導を徹底し、「学び方スタンダード」に基づいた授業規律や学習習慣について90%の定着を図る。	学校生活に関するアンケート項目「学び方スタンダード」9項目の自己評価において、肯定的に回答する割合を90%以上にする。
2	全教科において「深川小学学習スタイル」の学習過程を基盤とした学習を展開する。児童と一緒に学習の目的と学習活動のゴールを明確にするとともに、次時の主体的な学びにつながる振り返りを確実に挙る。	学校生活に関するアンケート項目「学び方が分かり、進んで学習に取り組む」において、肯定的に回答する割合を90%以上にする。

3	「主体的・対話的で深い学び」の定着に向け、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を意識した授業を行う。校内研究や校内 OJT 研修を通して年2回以上実践する。	学校生活に関するアンケート項目「友達と考えを伝え合い、自分の考えを広げたり、深めたりしている」において、肯定的に回答する割合を90%以上にする。
4	朝学習や日々の反復学習、算数の少人数指導等、学習活動全般を通して、漢字や語彙力、計算等の基礎的・基本的な学力を定着させる指導を100%展開する。	「東京ベーシックドリル」による校内算数検定の正答率を90%以上にする。また、「こうとう学びスタンダード定着度調査」や「全国学力学習状況調査」の結果を基にした各学年の目標達成率を90%以上にする。
5	タブレット端末やデジタル教科書等、ICT 機器を毎日1回以上活用し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図る。	学校生活に関するアンケート項目「タブレット端末を使った学習」において、肯定的に回答する割合を100%にする。
6	俳句づくり（毎月）や読書旬間の取組、読書指導に計画的に取り組み、児童の語彙を増やし、言語に対する興味や関心を高め、言語感覚を磨く。	学校生活に関するアンケート項目「俳句の学習が楽しい」及び「読書に親しむ」において、肯定的に回答する割合を90%以上にする。

重点領域2		豊かな心の醸成 (か かがやく笑顔で思いやる)
中期経営目標	自他の違いやよさに気づき、互いに認め合える児童を育成する。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の全教育活動の中で、人権教育の充実を図る。 ・ 異学年交流を軸としたかかわりや、様々な他者との多様なかかわりの充実を図る。 ・ 基本的な生活習慣の確立に向けた指導を徹底し、生活指導の充実を図る。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	児童一人一人が、自分の居場所を見つけることのできる温かい学級経営、教科経営を目指すとともに、児童が互いのよさに気づき、相互理解することができる活動を工夫する。	学校生活に関するアンケート項目「学校が楽しい」において、肯定的に回答する児童の割合を100%にする。
2	にこにこ班活動（異学年交流）を中心とした、縦割り班遊びやいじめ防止の取組など、児童主体の取組や他者とのかかわり合いを通して、児童の自己有用感や自己肯定感の向上を図り、他者を思いやる心を醸成する。	学校生活に関するアンケート項目「友達と協力しながら活動する」について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
3	全児童参加型「朝のあいさつ運動」や廊下でのあいさつの励行、教員による示範等を通して、いつでも・どこでも・だれにでも自分からあいさつできるよう、日常的に指導を継続する。	学校生活に関するアンケート項目「いつでも・どこでも・だれにでも自分からあいさつすることができる」について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
4	道徳では「友情、信頼」「公正、公平」等のいじめ防止に関する授業を年3回実施するとともに、よいところ見つけや年間3回のいじめアンケート等の取組を通して、いじめの未然防止といじめの早期発見・早期解決に努める。	学校生活に関するアンケート項目「いじめ」について、「いじめは絶対にしない、してはいけない」と回答する児童を100%にする。
5	近隣の保育園や幼稚園、中学校との連携、地域の方々、様々な障害をもつ人々等との交流を通して、様々な発達段階や障害等を学び、差別意識や偏見をなくそうとする意欲や態度を育てる。	学校生活に関するアンケート項目「多様な人々と交流し、自分との違いや互いのよさに気付くことができた」について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
6	深川 SDGs の取組や「カーボンマイナスこどもアクション」の活動に積極的に取り組ませ、環境問題や食の問題、不平等などへの興味関心を育む。	学校生活に関するアンケート項目「身の回りの環境や社会に興味・関心をもち、工夫して生活することができた」について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

重点領域 3		体力向上及び健康の保持増進 (わ わたしたち元気な深川っ子)	
中期経営目標	心身の健康・安全に興味・関心を高め、健康増進に向けて、主体的に、日常的な取組ができる児童を育成する。		
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・体育のめあて達成に向けて、ねばり強く取り組む児童を育成する。 ・体力スタンダードの意図的・計画的な実施と体育の授業改善による体力の向上を図る。 ・自分の心身の健康や成長に関心をもち、自分を大切にしようとする児童を育成する。 		
項目	努力指標 (教師側)	成果指標 (こども側)	
1	体育の授業では、運動領域に即した主運動につながるわくわくタイムの充実を図ったり、場の工夫を行ったりして、学習に主体的に取り組む意欲を高める。	学校生活に関するアンケート項目「体育の授業が楽しい」において、肯定的に回答する割合を95%以上にする。	
2	毎時間、めあてが明確で運動量が確保された体育の授業を展開するとともに、児童自ら、めあてに応じた振り返りを行うことを通して、体力の向上を図る。	学校生活に関するアンケート項目「めあて達成に向けて一生懸命に運動している」について肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。	
3	年間3回の体力向上推進期間での取組や、ウキウキタイム、深川っ子タイム等、授業以外の場での運動や外遊びの励行を通して、日常的に進んで身体を動かす習慣を身に付けさせる。	学校生活に関するアンケート項目「身体を動かすことが楽しい」及び「休み時間には、進んで身体を動かしている」について、肯定的に回答する児童の割合を90以上とする。	
4	保健指導全体計画や食に関する指導の全体計画に基づき、毎日の健康観察、歯の健康推進、給食指導など、年間を通して計画的に保健指導や食育を実施する。	学校生活に関するアンケート項目「自分の健康や成長についてよく考えている」について肯定的に回答する児童の割合を90%以上とする。	

重点領域 4		信頼される学校の創造	
中期経営目標	保護者、地域と連携し、教育活動への理解や協力を得ながら児童の健全育成を進める。		
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校への理解や協力を得るために、教育活動の様子を積極的に発信する。 ・地域の一員としての自覚を高め、貢献する児童の育成するために、地域と連携した学習活動を展開する。 ・保護者、地域の教育力を生かした教育活動を活性化させる。 		
項目	努力指標 (教師側)	成果指標 (こども側)	
1	学校からの情報発信を工夫・改善し、保護者に向け、「がくぷり」や「すぐーる」を活用した配信を積極的にするとともに、学校ホームページを週1回程度更新し、地域や外部機関による学校への理解と信頼を高める。	保護者アンケート項目「学校は、積極的に情報発信している」について、肯定的に回答する保護者の割合を95%以上にする。	
2	総合的な学習の時間や生活科の学習の中で、地域を素材とした学習や、地域と連携した学校教育活動に全学年で年1回以上実施し、児童に地域の一員としての自覚を高めさせる。	学校生活に関するアンケート項目「深川のまちが好き・地域のことがよく分かるようになった」について肯定的に回答する児童90%以上にする。	
3	コミュニティ・スクールでの活動を軸として、保護者アンケートの実施や学校運営協議会での評価結果とともに、学校評価を分析し、次年度の教育課程に反映させる。	保護者アンケート項目「学校は改善されていると感じる」について、肯定的に回答する保護者の割合を95%以上にする。	
4	教職員の連携や教員の計画的な研修に取り組みながら、いじめ・不登校・アレルギー事故ゼロを目指し、未然防止・早期対応・早期解決に向けた対応を充実させる。	保護者アンケート項目「学校は、いじめ・不登校・アレルギー事故ゼロに向け、未然防止や早期対応に向けた取組を丁寧に行っている」について、肯定的に回答する保護者の割合を95%以上にする。	